

きたきゅー

通巻第56号

北QみらいNO.14



[発行]

〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ15階
北九州市立聴覚障害者情報センター

[連絡先]

TEL 093-645-1216
FAX 093-645-3335
E-mail
kitakyu-video@wel-tobata.jp

紹介1：さまざまな方向で合理的配慮を考える

聴覚障害者情報センターは、平成25年4月に北九州市の副都心である黒崎のコムシティという複合施設の中に入居しました。この施設は区役所をはじめ、ハローワークや急患センター等公的機関が入居しており、その中で、人づくり支援事業を担う北九州市の当時8施設（現在11施設）が「ひとみらいプレイス」という名称で、コムシティ再生計画における人づくり支援機能として集結しました。情報センターもその一員であり、センターとしての業務を行いながら、プレイス関係団体と連携をとった事業を行っています。

11施設の中には、事務局の八幡西生涯学習センターをはじめ、北九州国際交流協会、ユースステーション、子どもの館など、それぞれの目的や機能が異なる施設が連携し、人づくり支援機能の新たな展開を目指しています。今回、その中の「九州国際大学地域連携センター」との共同事業で、聴覚障害者を対象とした「終活セミナー」を実施することとなりました。

九州国際大学地域連携センターでは、市民カレッジという学びの講座を企画実施しており、その講座に聴覚障害の方が申し込みをされ、手話通訳料が確保できないという相談がきっかけでした。当時者に支払ってもらえないか、あるいは他の参加者に負担してもらってはどうかなどの話が出る中、障害者差別解消相談コーナーにも繋がりました。

九州国際大学地域連携センター共同事業 終活セミナー「終活で今を考える」

日時：平成28年11月14日(月)
13時30分～15時30分

場所：西部障害者福祉会館
(501・502・503会議室)

講師：かんだきくお 神田 紀久男 氏 (終活カウンセラー)

対象：聴覚障害のある方

申込み：必要

詳細は、チラシをご覧ください

ひとみらい交流ウィーク 「第3回 であい・ゆめ広場」

日時：平成28年11月13日(日)
10時00分～14時30分

場所：西部障害者福祉会館

内容：作品展示&ステージ(3階)
体験コーナー&バザー(5階)

その他：14時00分から大抽選会あり
抽選券は受付にて10時から配布開始
詳細は、チラシをご覧ください

申し込みをされた聴覚障害者ご自身とも話しあい、最終的には参加する権利を保障することが一番と大学側にもご理解いただき、手話通訳を付け、楽しく学んでいただくことができました。

しかし、大学側も教育委員会の理解が必要であり、障害者差別解消法が施行されても、今すぐに全ての講座に通訳をつけていくことは困難で、今後検討していくとのことでした。

これを機に、通訳料の確保が難しい大学側が講師の派遣や企画、講師料を準備し、当センターでは情報保障を準備し、お互いに出しあえる資源を出してはどうかということで今回のセミナーを企画しました。

これからも聴覚障害者のニーズに合わせて他施設とも連携をとりながら、聴覚障害者の社会参加と理解を広げていきたいと思っております。

報告1:福岡県立学校等初任者体験活動研修

平成28年7月25日(月)

7月25日(月)に福岡県立学校の初任者1名の体験活動研修として、当センターの事業体験をしていただきました。午前中はセンター運営や組織などの説明と施設見学の後、盲ろう者支援事業、手話通訳者派遣事業について。午後は、ビデオライブラリー事業を体験していただきました。どの業務に対しても、一生懸命に向き合う姿が印象的でした。今後も教育現場で明るく元気に活躍されることを期待しています。

研修を受けられた先生から感想を寄せていただきましたのでご紹介します。



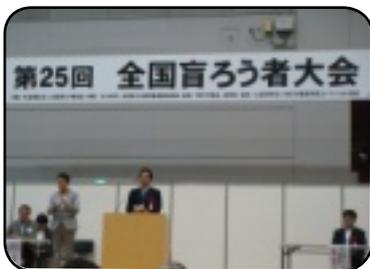
小倉聴覚特別支援学校で小学部を担当しております、^{たかどきく}高戸 季来と申します。今回、北九州市立聴覚障害者情報センターで、一日体験活動研修をさせていただきました。盲ろう者支援事業、手話通訳派遣事業、DVD作成事業等、普段とは全く異なる業務内容でしたが、職員の皆様のおかげで分かりやすく、楽しく体験することができました。たった一日の体験でしたが、とても有意義な一日となりました。

私事になりますが、私も生まれつき耳が聞こえません。この一日を通し、一番感じたことは、「自分の見えないところで、私を含めた聞こえない人をこんなにたくさんの方が支えてくださっていたのか」ということです。「感謝の気持ちを忘れてはいけない」とよく聞きますが、まさにこのことだと身に染みて感じました。今後は、この体験で感じたこと、学んだことを学校の子どもたちに伝え、感謝の気持ちを大切に子どもを育てていきたいと思えます。



通訳制度の説明(上) 点字学習(左) 手話キャスター体験(右)

報告2:第25回全国盲ろう者大会(北九州市) 平成28年8月19日(金)~8月22日(月)



開会式典の様子。
あいさつする北橋市長。



ボランティアのみなさん。
参加者を笑顔でお出迎え

8月19日(金)~22日(月)西日本総合展示場にて第25回全国盲ろう者大会が開催されました。全国から789名(うち、盲ろう者232名)の参加があり、9つの分科会と3つの社会見学コースに分けられました。九州圏内の盲ろう者友の会のみなさん、企画や準備、司会進行などお疲れ様でした。その他にも福祉機器展示、友の会の作品紹介やバザー、盲ろうの子とその家族の会「ふうわ」の交流広場がありました。年に1回の開催と

いうことで、参加者同士のお話が絶えない様子で、直接会って話すことの大切さを改めて感じました。次の開催地は岩手県です。また、お会いできるのを楽しみにしています。

報告3:筆談サポーター養成講座

平成28年7月17日(日)~ 9月11日(日)~

夏期講座:7月17日・24日・31日(会場:東部障害者福祉会館)

秋期講座:9月11日・18日・25日(会場:西部障害者福祉会館と八幡西生涯学習センター)

夏期・秋期合わせて40名近くの申込があり、ほとんどの参加者が修了されました。

夏期・秋期とも1日目は難聴者の現状と課題についての講義、2日目は難聴者の体験談、3日目は障害福祉制度の基礎知識の講義が行われ、また各回とも筆談の体験が行われました。受講生の学習意欲も高く、毎回質疑応答においてさまざまな質問が提出されました。筆談が難聴者に対する重要な情報保障として理解されるいい機会となったのではないかと思います。

(実施団体:特定非営利活動法人 北九州市難聴者・中途失聴者協会)



報告4 :ふれあいの会

平成28年8月21日(日)

平成28年9月21日(水)

ふれあいの会は、南沢見夏祭りに参加するようになり5年目になりました。『久しぶり、元気だった?』と手話を知らない方が挨拶に来てくれ『今年もまた頼むね』『頼りにしているよ』と口話と身振りで聴覚障害者と会話している様子を見ると、夏祭りの参加を継続してきたことで地域とのつながりができたことを本当に嬉しく思います。参加してくれた聴覚障害者と手話サークルのみなさん、そして南沢見夏祭り実行委員会の皆さまに感謝です。



作った焼きそばをパック詰め中



民生委員の説明を聞く参加者

第2回ふれあいの会は、地域の民生委員さんと交流をしました。民生委員さんは生活の中で困った時、悩みがある時に相談し話を聞いてくれ、他の機関につないでくれることがわかりました。また聴覚障害があることを地域の民生委員にぜひ自分から伝えて欲しいとお願いされました。聴覚障害者と民生委員さんがお互いを知ることによって安心して生活を送ることができます。みなさんはご自分の地域の民生委員さんをご存知ですか?ぜひ、調べてみてください。北九州市の場合、地域の市民センターに尋ねると教えてくださるそうです。

報告5 : 第14回聴覚障害者情報センターのつどい

平成28年9月18日(日)

9月18日(日)西部障害者福祉会館で「聴覚障害者情報センターのつどい」が開催されました。ろう者に祇園太鼓の指導を受けて太鼓を叩いたり、ニュースキャスターになったり、盲ろう者とのオセロ対決、字幕付け作業、ろう高齢者との交流、筆談ノート作りなど協力団体の全面協力を得て体験しました。たくさんの参加があり『聴覚障害者のみなさんと交流できてとても楽しかった』『たくさんのエネルギーをもらえた』『珍しい体験ができた』『スタンプラリーで賞品をもらえてよかった』などなど感想をいただきました。



視覚障害者用オセロで対決



筆談ノート作り



パソコンで字幕挿入体験



新聞紙を使いカード作り



祇園太鼓&手話お囃子隊

情報1 : 日本語字幕付き上映日の映画案内(10月・11月)

『SCOOP!』公開中
字幕上映日
10月23日(日)~10月25日(火)
『グッドモーニングショー』公開中
字幕上映日
10月27日(木)~10月29日(土)
『何者』
字幕上映日
11月6日(日)~11月8日(火)



お問い合わせ
T・ジョイリバーウォーク北九州
〒803-0812
北九州市小倉北区室町1-1-1
リバーウォーク北九州デコシティ4F
連絡先
TEL:093-573-1569
FAX:093-573-1653
MAIL
kitakyushu@t-joy.net

報告6：派遣事業の件数 出ータ (専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆記者)

専任手話通訳者

	個人	団体	計
7月	233	13	246
8月	236	7	243
9月	248	6	254
総計	717	26	743

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー

	個人	団体	計
7月	21	0	21
8月	23	0	23
9月	15	0	15
総計	59	0	59

要約筆記者

	個人	団体	計
7月	14	5	19
8月	10	5	15
9月	5	4	9
総計	29	14	43



ビデオ制作のコーナー



紹介2：北九州市立聴覚障害者情報センターが字幕制作しました。

「前川清の笑顔まんてんタビ好き

#75北九州市若松区100年続いたシブすぎる銭湯」(46分)



今回旅する場所は筑豊炭田の積み出し基地だった北九州市若松区。タビのキーワードは「100年続いたシブすぎる銭湯」。昭和の情緒が多く残っている若松区には今でもマキで焚くという100年続く銭湯「鶴の湯」がある。鶴の湯の5代目オーナーのヒサ子さんは陽気で愉快的な名物お母さん。素敵な風情の数々に懐かしさを感じる若松区を旅する。

編集後記：スポーツの秋

リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックも無事に閉幕しました。選手たちの活躍を見ながら一緒に笑い、一緒に涙した人も多いことと思います。何かスポーツをしてみたいなと思いつつ、なかなか始められない私です。

最近しているスポーツと言えば...職場での「ラジオ体操」くらい。朝礼の後、職員みんなで行なっています。一人では三日坊主になりがちですが、全員で行なっているため、今年の春から続いています。

また、続いている理由の一つは、使っている音源(CD)のおかげもあるかもしれません。一般的な「ラジオ体操」は標準語で話す男性のかけ声です。しかし、このCDには関西弁や津軽弁などの方言が収録されています。他にも英語やイタリア語、アフリカのギニア語などもあります。たまには違った号令で体操するのも気分転換になり楽しいですよ。歌詞カードがついているもの、インターネットで歌詞が載っているものとありますので、ぜひ、一度、のぞいてみてください。



貸出状況の出ータ

	貸出人数	貸出本数
7月	12	31
8月	6	18
9月	13	35
総計	31	84